

Department of Future Planning

将来開拓部門

産学官連携に関する社会情報の分析、将来構想に関する研究、産学官連携の分野における人材育成、産学官連携・知的財産活動への助言・評価を担当します。

県外からのアクセス

<東京方面から>

■ 飛行機利用

羽田—小松 1日11往復/1時間

※小松空港—金沢駅連絡バスがあります。

■ JR利用

東京—金沢 上越新幹線、はくたか
(ほくほく線経由)/約4時間10分

上野—金沢 寝台特急北陸
夜行急行能登(運行日程あり)
/8時間

■ 高速バス利用

東京—金沢 1日10往復/7時間30分
※横浜発、八王子発あり

<大阪・京都方面から>

■ JR利用

大阪—京都—金沢 特急サンダーバード 雷鳥
/約2時間30分

■ 高速バス利用

大阪—金沢 1日5往復/約5時間
京都—金沢 1日4往復/4時間

<名古屋方面から>

■ JR利用

名古屋—金沢 特急しらさぎ/3時間
名古屋—米原—金沢 ひかり・特急しらさぎ
/2時間28分

■ 高速バス利用

名古屋—金沢 1日10往復/4時間

県内からのアクセス

<金沢駅から>

■ 北陸鉄道バス利用

金沢駅東口3番乗り場発 金沢大学行き93・94・97
34~37分

金沢大学イノベーション創成センター

〒920-1192 石川県金沢市角間町

Tel. 076-264-6111

Fax. 076-234-4019

innov@ad.kanazawa-u.ac.jp

www.innov.kanazawa-u.ac.jp

将来開拓部門は、センター他部門
(連携研究推進部門、知的財産部門、起業支援部門)への
橋渡し役です。

将来に向け、大学発・地域発の事業活動を発掘・育成

科学技術にとどまらず、事業化可能な資源を学内外から発掘し、育成します。

他部門への連絡を行うセンターの窓口になります。

- 1 権利取得可能なものは知的財産部門へ
- 2 共同研究で発展させるものは連携研究推進部門へ
- 3 事業化が可能なものは起業支援部門へ



将来開拓部門の業務内容

- 1 学内資源の把握・発掘
 1. 学内研究室を訪問し、研究者の得意領域を把握
 2. 専門領域・関心課題のデータベースを整備
- 2 地域資源の把握・発掘
 1. 学外の企業、地域団体を訪問し、活動を把握
 2. 得意分野・苦手分野の情報整理
- 3 学内・地域資源の試験的運用・事業化
(パイロット・プロジェクトの運用)
 1. 能登野菜のブランド展開
 2. 加賀百万石の歴史を生かした観光プログラム・社会科教育プログラム
 3. 大学発音楽イベントによる文化資源活用策の提案

将来開拓部門を窓口とした
情報提供を広く受け付けます。

Department of Joint Research

連携研究推進部門

産学官連携の企画・推進及び支援、共同研究及び受託研究の推進、技術相談、産学官連携に関する研究及び教育を担当します。

県外からのアクセス

<東京方面から>

■ 飛行機利用

羽田一小松 1日11往復/1時間

※小松空港一金沢駅連絡バスがあります。

■ JR利用

東京一金沢 上越新幹線、はくたか
(ほくほく線経由)/約4時間10分

上野一金沢 寝台特急北陸
夜行急行能登(運行日程あり)
/8時間

■ 高速バス利用

東京一金沢 1日10往復/7時間30分
※横浜発、八王子発あり

<大阪・京都方面から>

■ JR利用

大阪一金沢 特急サンダーバード 雷鳥
/約2時間30分

■ 高速バス利用

大阪一金沢 1日5往復/約5時間
京都一金沢 1日4往復/4時間

<名古屋方面から>

■ JR利用

名古屋一金沢 特急しらさぎ/3時間
名古屋一米原一金沢 ひかり・特急しらさぎ
/2時間28分

■ 高速バス利用

名古屋一金沢 1日10往復/4時間

県内からのアクセス

<金沢駅から>

■ 北陸鉄道バス利用

金沢駅東口3番乗り場発 金沢大学行き93・94・97
34~37分

金沢大学イノベーション創成センター

〒920-1192 石川県金沢市角間町

Tel. 076-264-6111

Fax. 076-234-4019

innov@ad.kanazawa-u.ac.jp

www.innov.kanazawa-u.ac.jp

金沢大学は、

産学官が共通の課題について**連携**することで、
より**卓越**した**研究成果**を生み出します。

本部門の業務内容例

- 1 民間企業・機関等との共同研究、受託研究のコーディネーション・マッチング活動による推進
- 2 総合大学の特性を生かし研究開発に関わる多分野の技術相談、技術アドバイスに適した教員の紹介
- 3 競争的研究資金・民間資金を用いた公募産学官共同研究プロジェクト等の情報提供と申請書作成支援活動
- 4 ニュースレター、ホームページ、地域の産学官関連イベント等による共同研究成果、シーズ等の広報
- 5 教員による企業・研究所訪問、企業による学内での説明会開催など双方向コミュニケーションの場形成

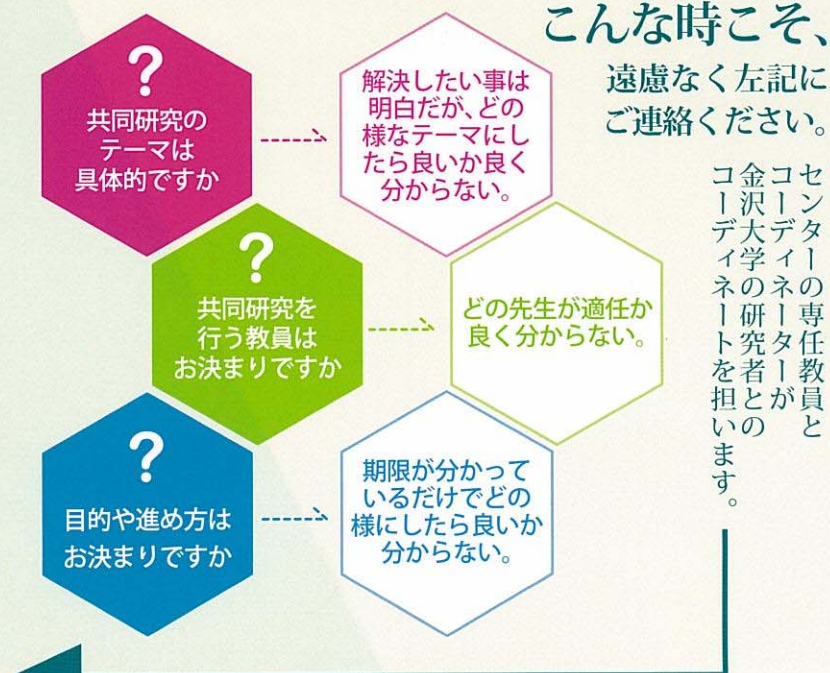
共同研究制度について

共同研究とは、企業等の研究者と本学の教員とが共通の研究課題について対等の立場で共同して研究を行う制度です。

共同研究可能テーマの探し方

- ◆ 金沢大学イノベーション創成センターHPの「金沢大学教員総覧」より『研究分野別検索』『キーワード検索』をしてみましょう。
- ◆ 同HPの「共同研究実施状況」より『キーワード検索』や、『年度別一覧』で、これまでの共同研究実施例を見ることができます。

共同研究のすすめ方



Department of Intellectual Property

知的財産部門

知的財産戦略の情報収集及び企画立案、知的財産に関する研究及び教育、知的財産ネットワークの充実及び管理、知的財産の発掘及び管理並びに研究成果物の管理を担当します。

県外からのアクセス

<東京方面から>

■ 飛行機利用

羽田—小松 1日11往復/1時間

※小松空港—金沢駅連絡バスがあります。

■ JR利用

東京—金沢 上越新幹線、はくたか
(ほくほく線経由)/約4時間10分

上野—金沢 寝台特急北陸
夜行急行能登(運行日程あり)
/8時間

■ 高速バス利用

東京—金沢 1日10往復/7時間30分

※横浜発、八王子発あり

<大阪・京都方面から>

■ JR利用

大阪—京都—金沢 特急サンダーバード 雷鳥
/約2時間30分

■ 高速バス利用

大阪—金沢 1日5往復/約5時間

京都—金沢 1日4往復/4時間

<名古屋方面から>

■ JR利用

名古屋—金沢 特急しらさぎ/3時間

名古屋—米原—金沢 ひかり・特急しらさぎ
/2時間28分

■ 高速バス利用

名古屋—金沢 1日10往復/4時間

県内からのアクセス

<金沢駅から>

■ 北陸鉄道バス利用

金沢駅東口3番乗り場発 金沢大学行き93・94・97
34~37分

金沢大学イノベーション創成センター

〒920-1192 石川県金沢市角間町

Tel. 076-264-6111

Fax. 076-234-4019

innov@ad.kanazawa-u.ac.jp

www.innov.kanazawa-u.ac.jp

「知の創出、保護、活用、研究への還元」の

「知的創造サイクル」の一翼を担う、
これが**大学の知的財産権**です。

大学の成果により社会貢献を果すために

大学の知的財産権は、ロイヤリティ収入を得るのではなく、大学の成果が社会で最大限活用されるための手段として活用されます。

知的財産権の扱い

■ 権利の帰属は？

適切な保護、活用を図るため、知的財産権は原則大学帰属としています。

■ 発明管理はどうするの？

- ・職務発明規程に基づき、職務発明の認定を行い、出願するときは、発明者から権利を大学に譲渡して頂きます。
- ・研究成果を適切に保護するため、論文発表前に出願するように務めて頂きます。

■ 活用はどうするの？

知的財産権が社会で有効活用され社会貢献できると判断されるときは、技術移転による活用を図ります。

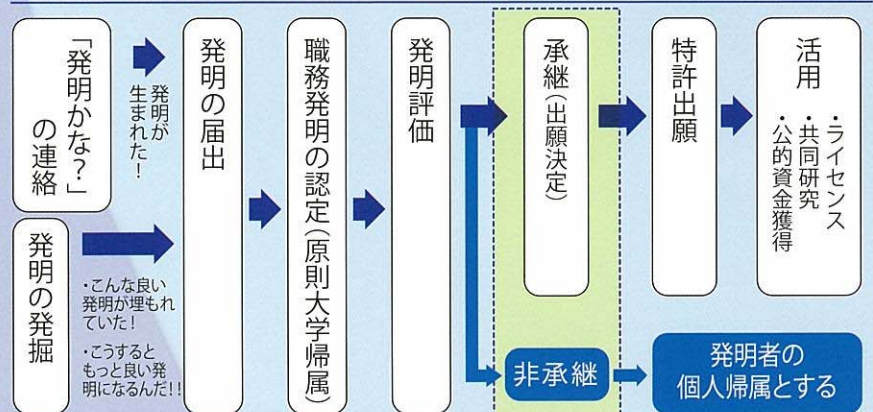
■ 発明者へのインセンティブは？

発明の促進、研究意欲の向上を図るため、出願が登録された時、ライセンスや譲渡により収入があった時、発明者に報奨金が支払われます。

■ ベンチャーへの配慮は？

発明者が大学の知的財産権を活用して起業する場合、知的財産権の使用に優遇措置を行います。

発明の発生から活用まで



発明届出・特許出願件数

平成 14~19 年度比較(年度別)

■ 届出件数
■ 出願件数



Department of Entrepreneur Promotion

起業支援部門

ベンチャー起業化及び事業化に対する支援、大学院及び若手研究者の創造性を養成する教育プログラムの実施、ベンチャービジネスの萌芽となるべき独創的な研究開発プロジェクトの推進を担当します。

県外からのアクセス

<東京方面から>

■ 飛行機利用

羽田ー小松 1日11往復/1時間

※小松空港ー金沢駅連絡バスがあります。

■ JR利用

東京ー金沢 上越新幹線、はくたか
(ほくほく線経由)/約4時間10分

上野ー金沢 寝台特急北陸
夜行急行能登(運行日程あり)
/8時間

■ 高速バス利用

東京ー金沢 1日10往復/7時間30分
※横浜発、八王子発あり

<大阪・京都方面から>

■ JR利用

大阪ー京都ー金沢 特急サンダーバード 雷鳥
/約2時間30分

■ 高速バス利用

大阪ー金沢 1日5往復/約5時間
京都ー金沢 1日4往復/4時間

<名古屋方面から>

■ JR利用

名古屋ー金沢 特急しらさぎ/3時間
名古屋ー米原ー金沢 ひかり・特急しらさぎ
/2時間28分

■ 高速バス利用

名古屋ー金沢 1日10往復/4時間

県内からのアクセス

<金沢駅から>

■ 北陸鉄道バス利用

金沢駅東口3番乗り場発 金沢大学行き93・94・97
34~37分

金沢大学イノベーション創成センター

〒920-1192 石川県金沢市角間町

Tel. 076-264-6111

Fax. 076-234-4019

innov@ad.kanazawa-u.ac.jp

www.innov.kanazawa-u.ac.jp

ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー

Tel. 076-234-6842

Fax. 076-234-6844

kvbl@nst.kanazawa-u.ac.jp

サイエンスプッシュ型のイノベーションの創成と 起業家精神の醸成

大学発ベンチャービジネスの支援

コーディネーター、外部専門家の協力のもと金沢大学の理工学技術・医薬保健学技術(農学)+人間社会学技術を結集したベンチャービジネスへの支援

- ◆ 大学院生、若手研究者起業ベンチャー
- ◆ 教員起業ベンチャー
- ◆ 企業と大学連携ベンチャーなど



イノベーションの創出

近い将来、起業化が見込まれる教員プロジェクト研究の募集と選考、研究員の採用、研究費補助、ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー (VBL)施設・設備の使用など、また、大学院生による起業化が期待される研究テーマの募集選考と研究費補助など、イノベーション創出の芽を育成し、起業化されたベンチャーへのインキュベーション施設の利活用とマネジメント支援を行います。

- 1 生体機能システム:** 医療・バイオ関連と生体機能解析・介助に関する研究開発
- 2 環境保全技術:** 水や土壌、自然環境の汚染の解析と微生物による汚染浄化、地震などの災害による環境破壊の解明と予防処置、及び複雑系の計算機シミュレーション

イノベーションの流れ



起業家のための教育体制

学生への起業家精神の醸成のために、ベンチャービジネスに関わる講義・演習、ビジネスプランコンテスト、さらに講演会・講習会、セミナーなどの実施、人材育成と自立型・継続的な地域発展への貢献のための国内外・地域自治体のコーディネーター・イノベーション創成センター協力企業そして本学産学官連携に関わる教職員や金沢大学TLOなどによる大学院生を対象としたMOT(技術経営)教育や講演会などを実施。